

市民文芸

短歌

令和七年度
第五十四回阿南市秋季短歌大会 選

入選
夕闇に鈴虫の声朝夕に涼風感じ今日は処暑なり
澤田 素子

中学生短歌入賞者

一位
鬼皮と渋皮むいてへとへとにやつと食する栗ご飯かな
新野中学校二年 岩野 莞爾

二位
目が合つてたぶん気のせいそれなのにすぐくドキドキ止まらなかった
福井中学校一年 湯浅 夢菜

三位
墓参り会いに来ましたおばあちゃん思い出うかび秋風通る
新野中学校一年 岩野 軍治

入選
草の中一つのコスモス咲いているまぶしい瞳僕を見つめる
新野中学校三年 大谷 李斗

入選
汗にじむ声がかれるほど叫んでもまだまだ届かぬ勝利のゴール
福井中学校一年 和渕 理咲

入選
台風よ出番がおそい登校日休みになれよ休みになれよ
新野中学校三年 七條 大成

入選
ラケットを握る手のひら汗にぬれ青春してる目指すは優勝
福井中学校一年 野村 海斗

俳句

阿南市俳句連合会 選

葉ずれには少し間のある青田風
青梅の採り入れ急ぐ雨催い
白子干酢橘をぐつと絞りたる
冷奴かくれるほどの薬味かな
薪能ノウゼンカズラ上りたる
山と山つなぐ夕虹足止まり
山路来て夫婦励ます若葉かな
山山に若葉モクモク目にしみる
紫陽花の若木古木や雨の庭
燕の子今日は車庫まで飛んでみた
米田 豊子
横井 知昭
小西 晴美
大西 裕子
田上 隆敏
谷 由美子
藤崎 恵竹
久米 浩一
久米 千草
鈴木 順子

川柳

阿南川柳会 選

朝日受け虹引くような大漁旗
むしゃぶるい免許更新通知前
病む足が歩かないぞとふて寝する
ひよつとしてあれが前触れだったのか
聞く耳はないよと塞ぐ反抗期
とうもろこしカラスが先に賞味する
掛けた分きつちり貰う年金日
神野 鈴代
佐藤つたえ
鈴木レイ子
多田紀久代
橋本 征介
若木アヤ子
渡邊ろまん

一般応募

前頭葉昨日の事が刻めない
短冊の願いを揺らす夜の風
セニヤ祭七十歳はまだヒヨコ
島尾美津子
泰地 重美
福島 義明

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社 選

足摺岬
断崖千仞突端辺
白聖灯台光景鮮
無限眺望大接水
浴陽佇尽晚鐘前
折野 博子
断崖千仞 突端の辺
白聖の灯台 光景鮮やかなり
無限の眺望 天水に接す
陽に浴し佇み尽くす 晩鐘の前
緑陰囲棋
緑陰対面興囲棋
百慮千謀黑白移
落子丁丁不知暮
清風吹尽爛柯時
田中 公
緑陰面に対し 囲棋に興ず
百慮千謀 黑白移る
落子丁丁 暮るるを知らず
清風吹き尽くす 爛柯の時

葢草(じゅうやく)
勁草群生籬落隈
苞芭十字夏皚皚
民家不絶備傷病
古往今来藥石魁
原 美智子
勁草群生 籬落の隈
苞芭の十字 夏 皚皚
民家絶やさず 傷病に備う
古往今来 藥石の魁

